

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第25号 2017年8月17日

8月の台風は迷走し長寿になる例が多いそうです。先の台風5号も、18日と18時間（気象庁統計で第3位）でした。動きが遅いため同じ場所で雨が降り続き、各地で河川の氾濫や土砂災害を引き起こしました。これから台風シーズンです。普段から避難行動等も考えておきたいものです。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第25号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
 - ◆第29回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆第30回コンサート
 - ◆第31回コンサート
- 【3】 バンドネオンって、どんな楽器？
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■第29回コンサート■■

- ◇2017年9月17日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）
- ◇出演：平田耕治（バンドネオン）アリエル・ロペス・サルディーバル（ギター）
永易理恵（ピアノ）成原 奏（ヴァイオリン）
- ◇プログラム（予定）
 - ◆アストル・ピアソラ：タンゴの歴史／オブリビオン
 - ◆マキシモ・プホール：セプティエンプレ
 - ◆フリアン・プラサ：パジャドーラ
 - ◆エンニオ・モリコーネ：「ニュー・シネマ・パラダイス」よりメドレー
 - ◆マリアーノ・モーレス：タンゲーラ
 - ◆ヘラルド・マトス・ロドリゲス：ラ・クンパルシータ
- ほか
- ◇料金：大人・高校生2,000円、中学生以下1,000円
- ◇会場：大倉山記念館ホール

第29回ジョイフルコンサートは『タンゴ・タンゴ・タンゴ～平田耕治&アリエル・ロペス・サルディーバルスペシャルコンサート』と題して、お届けします。

平田耕治さんからメッセージが届いています

こんにちは。バンドネオン奏者の平田耕治と申します。
今回の大倉山記念館でのコンサートは正に本場ブエノスアイレスから横浜への逆輸入コンサートとなります。
バンドネオンという楽器はまだ日本での知名度が低い楽器かも知れません。ぜひこの楽器の魅力を感じてください。

日本アルゼンチン音楽協会
代表 平田耕治

今回のジョイフルコンサートはバンドネオンの平田耕治さんとギターの

アリエル・ロペス・サルディーバルさんを中心に永易理恵さんのピアノと成原奏さんのヴァイオリンも加えたアンサンブルでの本場のタンゴをお聴き頂きます。暑い毎日に熱いタンゴ！ぴったりのプログラムではないでしょうか？どうぞお楽しみになさってください。

○タンゴ

タンゴは18世紀後半イベリア半島で舞曲のリズムとして生まれたのではないかとされています。はっきりとしたことはわかっていないようです。恐らくジプシーのような人達が踊るための音楽として自然発生的に生まれたということでしょうか？ダンスのタンゴも情熱的で激しいので私個人の印象ではあまり宮廷の舞踏会で踊るという感じではない気がします。

スペインの植民地支配下にあった南米諸国に伝わり、ダンスと共に発展していったと考えられます。

後ほど詳しい説明がありますが、タンゴは今回メインとなるバンドネオンで演奏されることが多いですが、バンドネオンもドイツで生まれた楽器だそうです。南米の楽器だと思い込んでいたので意外だし、とても新鮮でした。

タンゴは1拍目と3拍目に強烈なスタッカートがあり、その特徴的なリズムの上にロマンティックでメランコリックなメロディーが演奏されます。それがタンゴの魅力と言えるそうです。

○ピアソラ

ピアソラというと「リベルタンゴ」とどうしても思ってしまう。今回チラシには演奏曲として載っていたのですが、プログラムでは曲目変更で残念ですが消えていました。平田さんに確認したところ、時間やその場の雰囲気などで曲目がプラスされるなど、プログラムの変更があるそうです。所謂クラシックコンサートとはちょっと違うかもしれませんが、意外な展開があるかもしれません。そういう部分もお楽しみください。

ピアソラはバンドネオン奏者、タンゴの作曲家として活躍します。しかしタンゴに限界を感じて、フランスに留学し、クラシックの作曲を勉強します。そのためその後の彼の作品は「踊れないタンゴ」と言われ、ピアソラ自身も「タンゴの破壊者」と批判され冷遇された時期もあるそうです。今では「リベルタンゴ」も「ブエノスアイレスの冬」もフィギュアスケートで使われていますので、「踊れないタンゴ」とは言えないと思います。

今回演奏予定のピアソラの作品「タンゴの歴史からCafé」はとても可愛い曲ですし、「オブリビオン」はしっとりとした曲です。

○ラ・クンパルシータ

ラ・クンパルシータは聴けば誰もがご存じだと思います。意味は「仮装行列」だそうです。24時間365日常に世界のどこかで必ず演奏されているとの伝説もあるそうです。

タンゴのいろいろな世界が繰り広げられることでしょう。じっくりお聴きください。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

◆大変申し訳ありませんが、8月16日に満席となってしまいました。
（「キャンセル待ち」は受付中です）

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第30回コンサート■■

◇2017年11月19日（日曜日）

◇出演：藤原晶世（ヴァイオリン）

★第1回東京芸術センター記念ヴァイオリンコンクール第1位。
第2回チャイコフスキーピアノトリオオーディション優勝。
ウィーンベートーヴェン国際コンクール2012 第2位。
平成24年度日本学生支援機構 優秀学生顕彰 文化芸術部門 大賞受賞。
東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京芸術大学卒業。

◆予約受付開始日：2017年9月18日（月曜日）

■■第31回コンサート■■

◇2018年1月21日（日曜日）

◇出演：伊藤悠貴（チェロ）

【3】バンドネオンって、どんな楽器？

「バンドネオン」というとアルゼンチンの楽器と思われがちですが、実はドイツの楽器です。

19世紀後半にアコーディオンやハーモニカなどリード楽器を作るドイツの会社で、アコーディオンみたいにコンパクトで、でも音色的には全然違う新しい楽器を開発しようということになり、ハインリッヒ・バンドという人が発明しました。「バンド」さんが作ったアコーディ「オン」系の楽器だから「バンドネオン」と名付けられました。

バンドネオンは発明されたもののどんな音楽のジャンルで活躍するか定まらず、ドイツ国内では売れなくなっていました。そんな時、アルゼンチンから注文がきて、もともとはタンゴのための楽器ではなかったのですが、アルゼンチンに持ち込まれたら、その音色がタンゴに合うということで、タンゴに欠かせない楽器となりました。ドイツの会社は、製造技術をアルゼンチンに渡さず「アルゼンチン輸出仕様」の楽器として独占していたので、第二次世界大戦で工場が壊されてしまって以降、良い楽器が少なくなっていました。このため第二次世界大戦がはじまる前の1930年代に作られた楽器が良いと言われています。

日本のバンドネオン奏者の人達もこの時代の楽器をメンテナンスして使っていましたが、最近またドイツの工房で、演奏家の意見をリサーチしながらバンドネオンが作られているそうです。音色が「もう一歩」というところだそうです。年々よくなっているみたいです。

バンドネオンは両側にボタンの付いている木の箱を紙でできた蛇腹でつないでいます。蛇腹は伸ばすと約1mにもなります。重さは6～7kgです。鍵盤はなく、両側のボタンで音階を作ります。ボタンの数は右側が高音で38個、左側が低音で33個、合計71個です。これが標準的に用いられるものですが、これよりボタンの数が多いのも少ないのもあります。音域は5オクターブに半音足りないのと1音足りないのがあります。ボタンの配置はド、レ、ミ、ファ・・・の順に並んでいないので、最初はとにかく丸暗記して体で覚えるしかないみたいです。でも、このめちゃくちゃなボタンの配置の方が和音は出しやすく、弾きやすいそうです。また、同じボタンを押しても、蛇腹を引いた時と押す時では出る音は違ってきます。蛇腹を引いた時の方が音がよく響くので、バンドネオン奏者は蛇腹を引く音を多用し、蛇腹を引いて演奏しては空気抜きレバーを押しながら蛇腹を戻すということを繰り返して演奏しています。音色は中音域から高音域はオーボエ的な音色で、低音域は独特な哀愁のある渋さがあります。

日本は、本場アルゼンチン以外の国の中では、アマチュアのバンドネオン

奏者が多くいる国だそうです。最近はプロの奏者も増えてきました。
これからはバンドネオンの音色を聴く機会も増えていくことと思います。(のん)

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（7月16日公演）：『實川 風ピアノ・リサイタル～鮮烈なるオール・ベーターヴェン・プログラム』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」69%、「良かった」16%、残りは「無回答」の15%で、高い評価でした。

自由記入欄（ご感想など）には、
『エロイカ変奏曲は初めて聴きました。力強く熱いエネルギーを感じました』
『すごかったー。パワーあふれる演奏で、エネルギーいただきました』
『實川様は「題名のない音楽会」でショパンの「エオリアンハープ」をひいていただきましたがとてもすばらしかったです。本日のベーターヴェンもとても良かったです』『アンコール3回は素晴らしいと思います。真面目な人柄の良さを感じました』など、数多くのメッセージが寄せられました。

また、『会場の雰囲気もとても良く、坂を登ってきた甲斐がありました。音の響きも優しく、とても楽しかった』『アップルティおいしかったです。アットホームで素晴らしいコンサートでした』『いつもいろいろなジャンルの方をチョイスしていただき楽しみにしています』など、「ジョイコン」への嬉しいメッセージも頂きました。

「ジョイコン」は、今後も演奏者とお客様を繋ぐ“架け橋”になれるよう努めてまいります。アンケート回収数：62（回収率77%）

【編集後記】

演奏会当日の受付に『ウェルカムボード』を掲出することになった。次回から「切り絵ボード」（B3サイズ）を予定、更に「木製ボード」も準備中だ。きっかけは、ジョイコンの設立準備段階からともに活動してきた仲間が昨年病で亡くなったこと。遺志をしっかりと受け継いでジョイコンを更に盛り立てていく証としていきたいと実行委員全員で決めたものだ。（お）

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み
次回予約申し込みはこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>
予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー
メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら
ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更
メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら
info@ohkurayama-joycon.com

.....
発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会
Eメール info@ohkurayama-joycon.com
携帯電話 080-8424-5108
URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
.....